

## 内容評価基準5 数式や関数の適用

以下はこの内容評価基準カテゴリの中からレッスンを抜粋したものです。これらのレッスンがすべて自信をもって操作できるようになってから、次の内容評価基準カテゴリに進みましょう！

※各レッスンに該当するブックを開いてレッスンを行って下さい。

### Lesson 6 2 (P120)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル範囲【B18:E18】の「消化率」の数式を「実績÷予算」に修正してください。

### Lesson 6 3 (P121)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル範囲【E4:E20】に特価を求める数式を入力してください。特価は「定価－定価×値引き率」で求めます。
- (2) セル範囲【F4:F20】に「税込み価格」を求める数式を入力してください。  
税込み価格は「特価＋特価×5%」で求めます。(2013年11月現在)

### Lesson 6 4 (P123)

次の操作を行きましょう。

- (1) ワークシート「将来価値」のセル【B5】に10年後の「将来価値」を求める数式を入力してください。  
将来価値は、現在価値に「1＋年利」を年数でべき乗した値を乗算して求めます。  
年利は5%とします。
- (2) ワークシート「預金額」のセル範囲【B6:B15】に10年後までの預金額を求める数式を入力してください。  
預金額を、元本に「1＋年利」を年数でべき乗した値を乗算して求めます。

### Lesson 6 5 (P125)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル範囲【E4:E20】に「特価」を求める数式を入力してください。  
特価は「定価×(1－値引き率)」で求めます。
- (2) セル範囲【F4:F20】に「消費税」を求める数式を入力してください。  
消費税は「特価×消費税率」で求めます。消費税率はセル【G1】を参照します。

### Lesson 6 8 (P129)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル【E2】に「受験番号」の数値の個数を求める関数を入力してください。
- (2) セル【F2】に「受領済」のデータの個数を求める関数を入力してください。

## Lesson 7 0 (P131)

次の操作を行きましょう。

- (1) 「上期実績」が「上期目標」以上かつ「下期実績」が「下期目標」以上であれば「A」、そうでなければ「B」を表示する関数を、セル範囲【D5:D26】に入力してください。

## Lesson 7 2 (P132)

次の操作を行きましょう。

- (1) 職業が「学生」以外であれば「O」、そうでなければ空データを返すように、セル範囲【I2:I24】の関数を修正してください。

## Lesson 7 4 (P135)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル【K2】に、「会員 No.」が「1002」のレコードの「税込み代金」の合計を求める関数を入力してください。関数の引数は、セルを参照します。
- (2) セル【K5】に、「利用年月日」が「2011/1/1 以降 2011/1/31 以前」のレコードの「税込み代金」の合計を求める関数を入力してください。関数の引数は、セルを参照します。

## Lesson 7 6 (P139)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル【B2】に、「会員種別」が「プラチナ」の会員数を求める関数を入力してください。関数の引数は、セルを参照します。
- (2) セル【C5】に、「住所」が「横浜市」の男性の会員数を求める関数を入力してください。関数の引数は、セルを参照します。

## Lesson 7 9 (P143)

次の操作を行きましょう。

- (1) D 列と E 列の間に 3 列挿入してください。  
次に、セル【E4】に「800」、セル【F4】に「950」、セル【G4】に「1250」をそれぞれ入力してください。
- (2) 名前「北海道」のセル範囲を【B4:D4】から【B4:G4】に変更し、名前を「北海道」から「北海道営業所」に変更してください。
- (3) 名前「東北」を削除してください。